

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2022年10月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ポートフォリオの強化と当ファンド組み入れによるリスクリターン効果

魅力的な新規銘柄追加で高度な分散ポートフォリオを強化

当ファンドでは、従来から保有を続けている銘柄群に加え、成長性に対して株価のバリュエーションが魅力的で目立つ既存銘柄と異なる業種の新規銘柄を追加しました。新規銘柄を追加したものの、当ファンドが確信度の高い魅力的なビジネスに集中投資・長期保有する「差別化されたポートフォリオ」であることに変わりはありません。

世界的なインフレによる景気減速懸念など経済環境が目まぐるしく変化していますが、不透明感に対応しつつも引き続き高度な分散ポートフォリオを構築して参ります。

主な組入銘柄

インフレ影響を受けづらい「アセットライト※なビジネス」 (※ソフトウェア、オンラインサービス、ソリューションなどを提供)

日立製作所

産業系IoTプラットフォームを駆使したソリューション提供型モデル



キーエンス

コンサル力を武器にファクトリーオートメーションセンサーの開発・販売

リクルートホールディングス

オンライン求人広告・一般広告および人材関連サービス企業

ソニーグループ

ゲーム、音楽、映画分野を中心としたエンタメの提供



インフレリスクにさらされながらも、高い競争力が期待される「モノを提供する製造業的ビジネス」

日本電産

DCブラシレスモータの世界最大手メーカー



ダイキン工業

世界最大の空調機器メーカー

ロート製薬

OTC（処方箋なしで購入できる）目薬、スキンケア化粧品の製造販売



テルモ

心臓血管治療用の医療器具メーカー

直近の主な新規組入銘柄

東京海上ホールディングス

国内損害保険会社最大手。海外の成長余地が大きく、国内では高水準で安定した利益が生み出されており、株主としての期待リターンは年率8%~10%超が見込まれながら割安な水準と判断。

セブン&アイホールディングス

コンビニを核に総合スーパー、百貨店など展開。営業利益の約半分が米国のセブンイレブン事業。買収により米国内コンビニ店舗数が最大手となり、今後の業容拡大余地が大きいのも魅力。

オリックス

国内最大級のノンバンク・金融サービス会社で海外事業のベース利益*は全体の半分程度。設立から57年間、毎期黒字を計上。株主としての期待リターンは年率10%程度と高い成長率に期待。

成長性に対して株価のバリュエーションが魅力的、目立つ既存銘柄と異なる業種の新規銘柄を追加し、高度な分散ポートフォリオ強化

* ベース利益とは、セグメント利益からキャピタルゲイン、貸倒引当金繰入、減損を除いた利益です。

※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めたいだけのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

出所： 会社資料、スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2022年10月21日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関の場合、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2022年10月

特化型

追加型投信／国内／株式

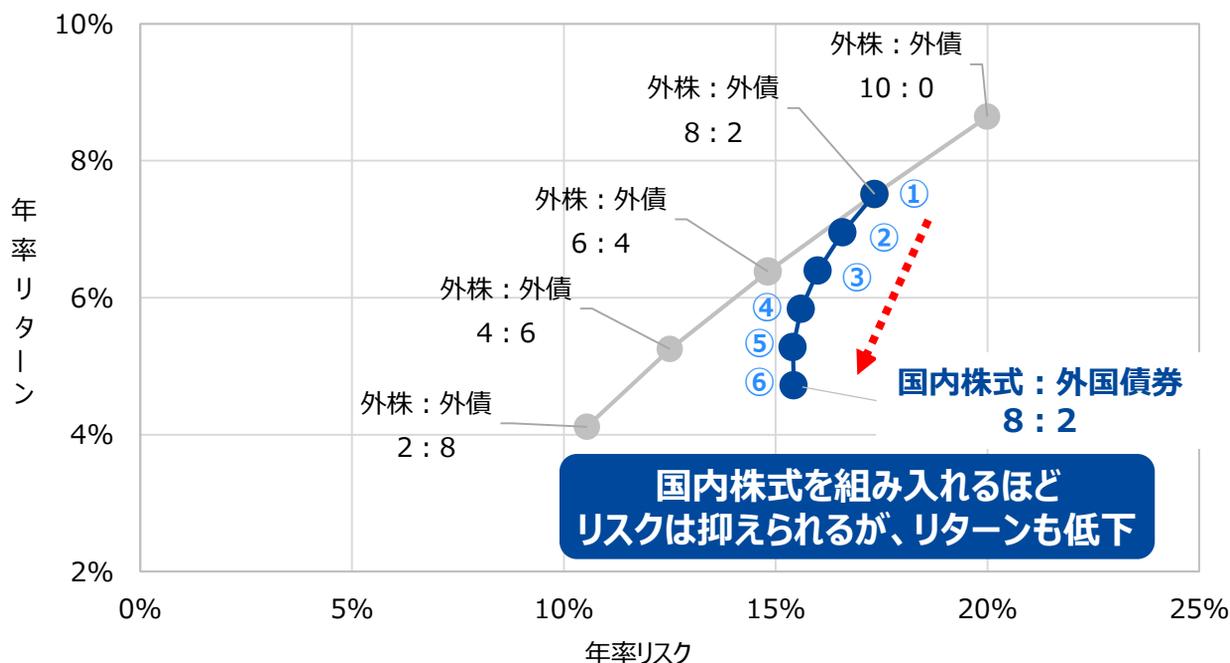
スパークス・アセット・マネジメント株式会社

国内株式組み入れによるリスクリターン効果

外国株式と外国債券にのみ分散投資されたリスクリターン値に、外国株式の保有比率を一定割合ずつ減らし、その分国内株式の保有比率を増やしていった場合、リスクリターンの点は①～⑥にプロットされます。

残念ながら外国株式すべてを国内株式に入れ替えてしまうと、リスクは抑えられますが、リターンも下がってしまうため、過去の実績によると、国内株式は市場平均に投資すると効率的な運用資産とは言い難いものと言えます。

外国株式・外国債券に国内株式を組み入れた場合のリスク・リターンの変化 (2008年4月～2022年9月)



	保有割合			年率リスク	年率リターン
	国内株式	外国株式	外国債券		
①	0%	80%	20%	17.3%	7.5%
②	16%	64%	20%	16.6%	7.0%
③	32%	48%	20%	16.0%	6.4%
④	48%	32%	20%	15.6%	5.8%
⑤	64%	16%	20%	15.4%	5.3%
⑥	80%	0%	20%	15.4%	4.7%

年率リスク：-1.9%
年率リターン：-2.8%

※ 国内株式：TOPIX（配当込み）、外国株式：MSCI AC ワールド・インデックス（除く日本、円ベース）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

出所： FactSet Pacific Inc.のデータをもとにスパークス・アセット・マネジメント作成（2022年10月21日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関の場合、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2022年10月

特化型

追加型投信／国内／株式

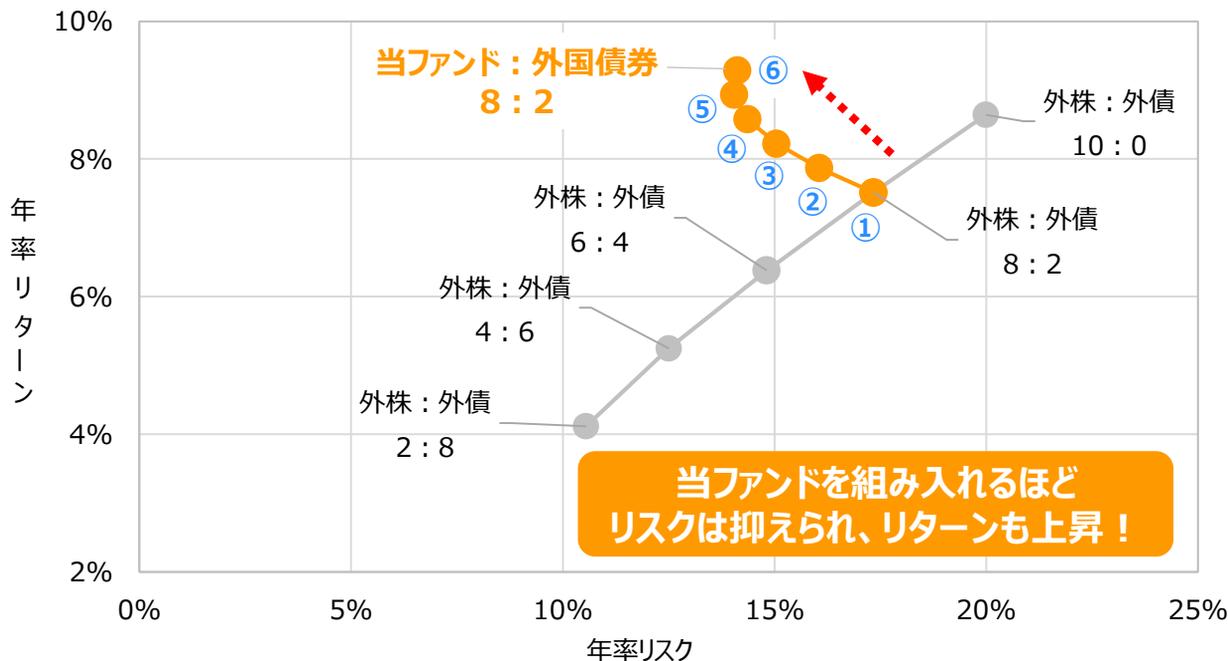
スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当ファンド組み入れによるリスクリターン効果

P2と同様に、外国株式と外国債券にのみ分散投資されたリスクリターン値に、外国株式の保有比率を一定割合ずつ減らし、その分当ファンドの保有比率を増やしていった場合、リスクリターンの点は①～⑥にプロットされます。当ファンドを組み入れていただくと、リスクも抑えられ、且つリターンも高めることができ、外国株式すべてを当ファンドに入れ替えていただいても運用効率を引き上げることができていたことがわかりいただけます。過去の実績によると、当ファンドはポートフォリオに組み入れていただけるだけの価値のある日本株アクティブファンドだと考えております。

外国株式・外国債券に当ファンドを組み入れた場合のリスク・リターンの変化

(2008年4月～2022年9月)



	保有割合			年率リスク	年率リターン
	当ファンド	外国株式	外国債券		
①	0%	80%	20%	17.3%	7.5%
②	16%	64%	20%	16.1%	7.9%
③	32%	48%	20%	15.0%	8.2%
④	48%	32%	20%	14.4%	8.6%
⑤	64%	16%	20%	14.0%	8.9%
⑥	80%	0%	20%	14.1%	9.3%

年率リスク：-3.2%
年率リターン：+1.8%

※ 当ファンド：分配金再投資基準価額（信託報酬控除後のものであり、税引前の分配金を再投資したもとして計算）、外国株式：MSCI AC ワールド・インデックス（除く日本、円ベース）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

出所： FactSet Pacific Inc.のデータをもとにスパークス・アセット・マネジメント作成（2022年10月21日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関の場合、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写をすることを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2022年10月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドの運用状況

当ファンドは、昨年11月以降基準価額が下落傾向でしたが、直近数か月は横ばいの展開となっております。今年前半に起こった極端なバリューストック（銀行、通信、電力など）が先行するような動きは落ち着き、当ファンドに主に組み入れているグロース株との株価の乖離はほとんど見られなくなってきたと考えております。

年初来からパフォーマンスにプラス寄与した組入銘柄は、ロート製薬、三菱商事、日立製作所などとなっております。マイナスに影響した組入銘柄は、メルカリ、リクルートHD、ソニーグループなどとなっております。

当ファンドのポートフォリオは、長期的に成長が期待できる確信度の高いグローバル企業に投資しており、中長期的にTOPIXを上回る成長を遂げていくという考えに変わりはありません。

当ファンドの基準価額と参考指数の推移

(2008年3月27日～2022年10月21日)



当ファンド上位5銘柄

(2022年9月末)

銘柄総数：27銘柄

順位	コード	銘柄	保有比率
1	6501	日立製作所	10.8%
2	8058	三菱商事	9.3%
3	6758	ソニーグループ	7.7%
4	4527	ロート製薬	5.8%
5	6861	キーエンス	5.7%

当ファンドと参考指数のROE

(2022年9月末)

	実績ROE*
当ファンド	11.5%
TOPIX (配当込み)	8.6%

* 実績ROEは2022年9月末時点で取得可能なデータを元に算出しています。

※ 基準価額は信託報酬控除後です。

※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、税引前の分配金を再投資したものと計算したものです。

※ 参考指数（TOPIX（配当込み））は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 保有比率は対純資産総額をもとに計算しています。

出所：スパークス・アセット・マネジメント、東洋経済、FactSet Pacific Inc.（2022年10月21日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関の場合、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2022年10月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■投資リスク

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。**従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

ファンドが有する主な変動要因は、次の通りです。※変動要因は下記に限定されるものではありません。

●株価変動リスク ●集中投資のリスク ●信用リスク ●その他（システムリスク・市場リスクなどに関する事項）

ファンドのリスクなどについては、「投資信託説明書（交付目論見書）」に詳しく記載されております。お申込みにあたっては、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.804%（税抜1.64%）を乗じて得た額とします。〔委託会社0.99%（税抜0.90%）、販売会社0.77%（税抜0.70%）、受託会社0.044%（税抜0.04%）〕 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
	監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
随時	その他費用・ 手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が別に定める単位 ※詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には制限を設ける場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。確定拠出年金制度の加入者等については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用となります。原則として配当控除の適用が可能です。 * 上記は2022年4月末日現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

■特化型に関して

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2022年10月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

■ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
（加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
委託会社の指図に基づき信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照
ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
岡三証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○	○		
株式会社きらぼし銀行 （委託金融商品取引業者 きらぼしライ フデザイン証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○	○		
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3198号	○			
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○	○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○			
株式会社新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社 SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○	○		
株式会社新生銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証 券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○	○		
損保ジャパンDC証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第106号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
東海東京証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第579号	○	○		
とちぎんT T証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第32号	○			
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第6号	○	○		○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○	
LINE証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3144号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第346号	○		○	○

※1 株式会社SBI証券、東海東京証券株式会社は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。

※2 岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会に加入しています。

※3 とちぎんT T証券株式会社は、2022年10月3日以降新規の購入申込受付を停止しております。



スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2022年10月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

■ 指数に関して

国内株式：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」といいます。) の知的財産であり、J P X は TOPIX の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX の算出もしくは公表の停止または TOPIX の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

外国株式：MSCI AC ワールド・インデックス (除く日本、円ベース)

MSCI AC ワールド・インデックス (除く日本) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国・新興国で構成されています。また、MSCI AC ワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

外国債券：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9170 (受付時間：営業日9:00～17:00)